

文学館だより

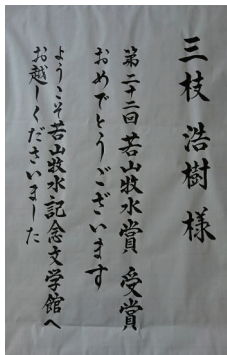
平成30年 3月 1日
若山牧水記念文学館
TEL 0982-68-9511
文 責 日 高

は る び し こ ん
われ知らずうたひいだせるわが声のさびしさよ、春日紫紺いろの海

母から上京の許しを得たのち、3月中旬頃美々津に出かけた折の歌 『みなかみ』収録 大正2年作

牧水賞受賞者 三枝浩樹さん ご来館

H30.2.8.



さいぐさひろき
歌人三枝浩樹さんに第22回若山牧水賞が贈られました。受賞作品は歌集『時禱(じとう)集』。
前日は宮崎市で授賞式、受賞祝賀会。翌8日は延岡市において、ウルスラ学園(聡明中・高)訪問、受賞記念講演会とめまぐるしいスケジュールの中、文学館へお立ち寄りいただきました。展示品ひとつひとつに足を留め、熱心にご覧になられました。歴代牧水賞受賞者のコーナーでは、兄昂之氏の前でツーショットが実現したり、ご自身紹介をスマホに収めたりと貴重な場面をかいま見ることができました。



生家見学



坪谷小見学



三枝さんより

三枝さんから若山牧水賞運営委員会事務局へ送られてきたメールです。

(略) 今、思っても夢のようなひとときでした。何より嬉しかったのは、河野知事さんはじめ、お目にかかった全ての方々が親切で、温かく、優しくったということです。初めて訪れた宮崎県のすっかりファンになりました。牧水を大切にされているんだな、ということも分かりました。授賞式のオープニングの坪谷小学校の13人の子供達の姿、あのよく徹った澄んだ声が忘れられません。小学校に連れてっていただいたことも、感謝しています。(以下省略)

宮崎人として、そして何より坪谷人として、うれしいことばでした。

牧水母校展開催中

— 坪小、延高、早稲田 そろそろ —

念願叶いました。牧水が学んだ母校で現在学んでいる、小学生、高校生、大学生の短歌作品展が実現しました。1年目は坪谷小児童の作品展。昨年は延岡高校まで拡大しての作品展。今年はいよいよ、早稲田大学短歌会の協力を得ることができました。100年前に詠まれた延中、早稲田時代の牧水短歌と平成30年の現代短歌をどうぞ読み比べてください。

つばやっこが詠んだ短歌

はつゆきではじめてつくったゆきだるま四かくくなくてもかわいいおかお
寒い日はやっぱりおふろ湯船にばしゃんまきてたくお湯あつついあつい

1年 上田 容平
4年 黒木陽世里

延岡高校生が詠んだ短歌

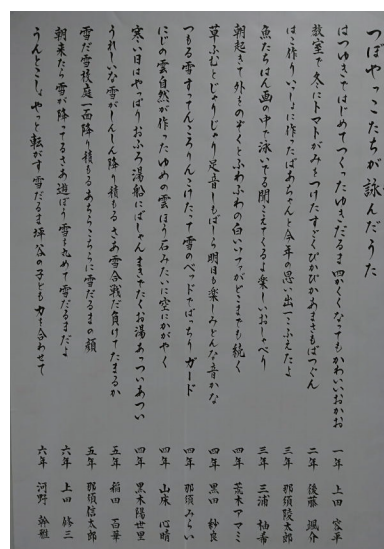
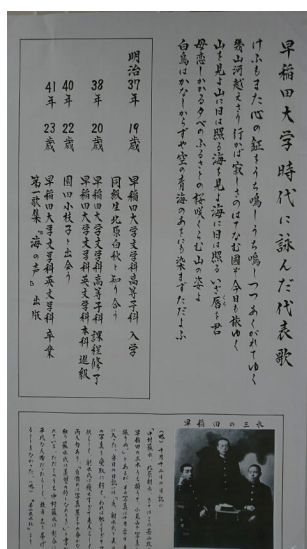
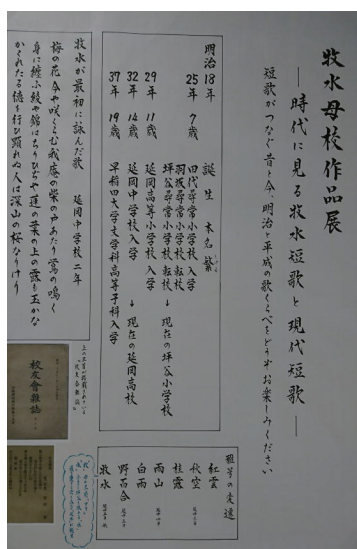
登校中いつもじゃまする信号機あの子と帰るなぜじゃましない
アメニヌレカゼニフカレテサビタイクボクノナマエハハイキロボット

1年 吉田 一平
2年 渡部 裕貴

早稲田大学短歌会が詠んだ短歌

祖母の声が電話口から漏れてきて東京の輪郭は解ける
夏鳥の愛は終わってイヤフォンを外す私が駅前にいる

2年 甲斐いづみ
3年 佐々木 遙



- 【期 間】 2月25日(日)～3月31日(土)
【内 容】 ① 坪谷小学校児童が詠んだ短歌作品
② 延岡高等学校生徒が詠んだ短歌作品
③ 早稲田大学短歌会が詠んだ短歌作品
④ 旧制延岡中学校時代から早稲田大学時代に詠んだ牧水短歌

無料でご覧いただけます。多くの方のご来館をお待ちいたしております。

牧水熱が高まっています

近年、県内はもとより全国的に牧水熱の盛り上がりを感じます。牧水没後90年を機にさらに牧水ファンが増えることを期待します。

- その1 「マンガ 若山牧水」出版まじか
その2 宮崎大学に通う学生たちが牧水自論を交わす
その3 「文豪とアルケミスト全国散策ぴあ」発売まじか 当文学館も紹介されます！
その4 調布FMラジオ局よりメール受信 番組「神泉薫のことばの扉」で、みなかみ紀行紹介
その5 東京詩吟の会が、5月、牧水のうたを吟じ、発表会開催

その他、牧水に関する情報をお持ちの方は当文学館までご一報ください。 ☎ 0982 - 68 - 9511